

このコーナーは、私“池ちゃん”が、日頃感じていることや気になることなどを独り言のようにつぶやくコーナーです。以前は、ニュースレター上でお送りしてきましたが、ニュースレター作成担当を卒業した為、昨年からはスタッフニュースとして継続することになりました！気付けば8年目に突入という、人気？コーナーです。今回 vol.92のテーマは「×3、÷3」です。わが家は子供3人のため、何事も「×3、÷3」が基本となってしまいます。



わが家は子供3人のため、何事も「×3、÷3」が基本となってしまいます。「×1」や「÷2」という概念はほとんど存在しません…。長男11歳・長女8歳・次女4歳と年齢に差はありますが、何でも平等でないと大変なことになります。「お兄ちゃんだけずるい！」とか「私だけどうして少ないの？」とか、必ず誰かから文句が出ます。時には文句を言うだけではとどまらず、ケンカに発展することも…。次女4歳も、お兄ちゃん・お姉ちゃんと平等じゃないと決して満足しません。ここで、わが家の「×3、÷3」を、ケースごとにいくつかご紹介したいと思います。

■ケース①：何かを買う時

おもちゃや本・おやつなど何かを買う時は、必ず3人分になります。ジュース・アイスを買う時ももちろん同様です。それぞれ買いたい物は違うので、金額に差が出るのですが、長男は金額にもシビア。誰がいくらの物を買うのかを把握して、妹たちが自分よりも高い物を買っていないかを逐一チェックしています。ほんと、器が小さい男です…。

■ケース②：どこかへ出掛ける・食べに行く

どこかへ出掛けたり食べに行ったりするのも、結果3人分になってしまいます。例えば、1人が友達と遊びに出掛けた際に、他の2人が私や妻と買い物に行ったり公園に遊びに行くと、後から大変なことになります。喫茶店やスイーツを食べに行くなんてもってのほかです。もめにもめて結局、後日 もう1人を連れて行く破目になるのです…。今では、「僕がいない間に、どこかに行ったりしちゃダメだよ！！」とか、「僕がいない間は、どんな予定なの？何をするの？」と、事前にチェックを入れてくるようになりました…。

■ケース③：何かを分ける時

おやつやケーキ、ジュースなどを分ける時は、必ず3等分になります。数や大きさ・量はかなりシビアにチェックされます。数はもちろん、大きさ・量が少しでも違っていると面倒くさいことになるので、ケーキをカットする時は、必要以上に緊張してしまいます…。ジュースをグラスに分ける時も同様です。ちゃんと3等分かどうかを判断するのは、やはり、器が小さい長男の担当です。以上、ほんの一例を紹介しましたが、わが家と同じ悩みを抱えているご家庭もたくさんあるのではないのでしょうか？ただし、この「×3、÷3」は、子供のことで悩まされる面だけではありません。「×3」という面言えば、3人いることで喜びや楽しさも3倍になります。1人ひとりの場合、2人の場合、3人揃った時の場合を考えれば、それ以上です。逆に、「÷3」という面で言うと、私や妻が子供たちに寂しい思いをさせているかもしれません。それは、1人ひとりと接する時間が「÷3」になってしまうことです…。わが家は共働きでして、平日は1人ひとりの話をゆっくり聞いてあげる時間も十分に確保できません。私に関しては、平日は子供たちと会話すらできないことも多々あります…。休日の限られた時間の中で、いかに子供たち1人ひとりと接することができるか、それが私の一番の課題でしょうか。そんな話を妻にしたら、「フットサル引退したら、もっと子供たちと接する時間が増えるよ～」と言われてしまいました…。(泣)。でも大丈夫！フットサルは子供が寝た後の時間帯でやることが多いので、全く、いや、それほど問題無いです！

